

HIV母子感染率は、効果的な戦略により大幅に減らすことができる

- 母子感染は、妊娠中、分娩時または授乳中に発生する可能性がある。
- 授乳せず、ARTも受けていない場合の母子感染リスクは最大約25%である。
 - 授乳によりHIVに感染する可能性はさらに最大20%高くなる。
- 以下の要因により、現在米国におけるHIV母子感染率は2%未満である。
 - 妊婦HIVスクリーニング検査の実施
 - 母親に対する妊娠前、妊娠中、および産後の有効なART
 - 必要に応じて予定帝王切開を実施
 - 状況によっては授乳を避ける。
 - 出生児へのARTの予防的投与